科目ナンバリング	U-LAS01 10009 LJ38						
授業科目名 <英訳>	西洋史II Western History II			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授　福元　健之		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	歴史・文明(基礎)			使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2026・後期	曜時限	火5/木3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

政治や社会に歴史があるように、医療にも歴史がある。今日の医学は、諸科学の中で最も社会的に信頼のおかれる学問の一つであるが、その時代ごとにかたちを変えてきた。そして、その変化から歴史を読み解くこともできるし、政治や社会の歴史では見えてこないことも多くそこに含まれる。

本講義では、医療史の観点から西洋近現代史を中心に論じる。その内容は、大きく３つにまとめられる。まず第二回から第五回までは、全体の前提となる事柄を扱う。それをもとに、第六回から第九回まで、政治と医療の関係について取り上げる。そして、さらにそれらを踏まえて、第一〇回から第一四回までは、講義者が現在取り組んでいる研究の成果を還元する。

[到達目標]

医療史の観点から、西洋史の基礎知識を理解する。それを通じて、近代的な身体観や健康観を相対視することができるようになる。

[授業計画と内容]

授業回数はフィードバックを含めて全15回とする。

１．イントロダクション

２．古代の身体観・健康観

３．医療の多元性

４．コレラと公衆衛生

５．天然痘とワクチン

６．身体の国民化

７．性に関する科学

８．ファシズムと医療

９．コロニアリズムと医療

１０．よみがえる古代

１１．「人工」太陽

１２．保養地での医療

西洋史II(2)へ続く↓↓↓

西洋史II(2)

１３．森とサナトリウム

１４．啓蒙とその「効用」

１５．フィードバック

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

期末筆記試験（100点）で評価する。論述形式で、講義内容の理解や、設問に対する解答の論理性および独創性を評価する。

[教科書]

授業中に指示する
授業中に資料を配布する

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

予習・復習は、授業で配布した資料を利用するとよい。授業中に紹介する文献や、図書館で関連する文献を自分でみつけ、読んでみることで、理解をさらに深めることができる。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]